

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年3月5日

【2018年2月24日～2018年3月2日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは対米ドル、対円で下落しました。また、2年国債金利は大幅に低下しました。

3月1日(現地、以下同様)にブラジル政府が発表した2017年の実質GDP(国内総生産)成長率は前年比+1.0%となりました。プラス成長は2014年以来3年ぶりのことで、2015年から2016年にかけての景気後退によりやく底打ちが見られました。

一方で、今回の実質GDP成長率につきましては、前期比および前年比の数字がいずれも市場予想を下回ったことから、ブラジル中央銀行が金融緩和姿勢を継続し、次回以降のCOPOM(金融政策委員会)で利下げを行うとの観測が一段と強まりました。これを受けて、2年国債金利の低下が加速しました。

政治情勢に関しましては、大統領選に向けて連立与党内での候補者選定が加速しています。現政権が進める経済政策を継承できる候補として、メイレス財務相が有力候補の一人と目されており、メディアへの露出が増加している模様です。

【2】今週の見通し

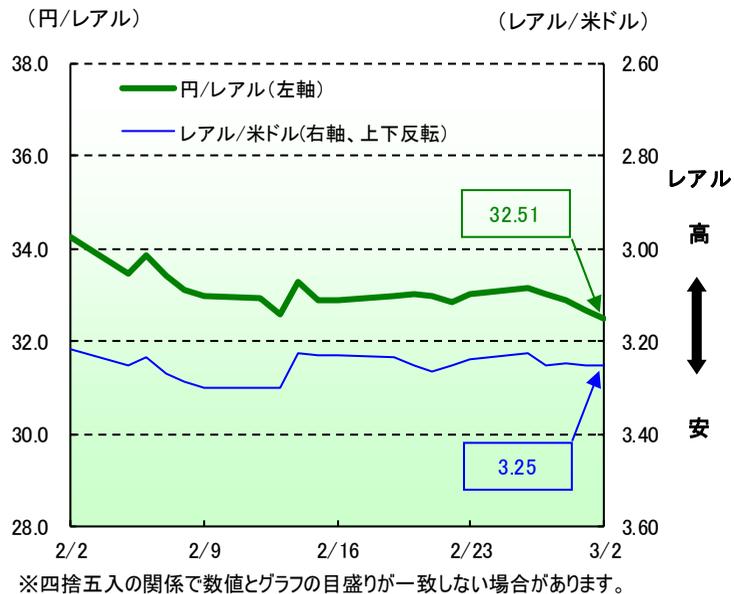
今週はIPCAインフレ率や鉱工業生産などの経済指標の発表に注目が集まります。とりわけ、9日に発表されるIPCAインフレ率は、20日から21日にかけて開催されるCOPOMでの政策決定に大きな影響を与える可能性があると考えています。

IPCAインフレ率の市場予想は前年比2.8%程度で、前月発表された数字とほぼ横ばいの水準となっています。現在、市場参加者はおおむね60%程度の確率で、次回COPOMにおける0.25%ポイントの追加利下げを織り込んでいますが、発表されたインフレ率が市場予想を下回った場合は、一段と利下げへの期待感が高まるものと想定しています。

政治情勢につきましては、大統領選に関する世論調査の結果が複数発表される予定となっていますが、现阶段ではブラジル金融市場への影響は軽微なものにとどまると見込んでいます。

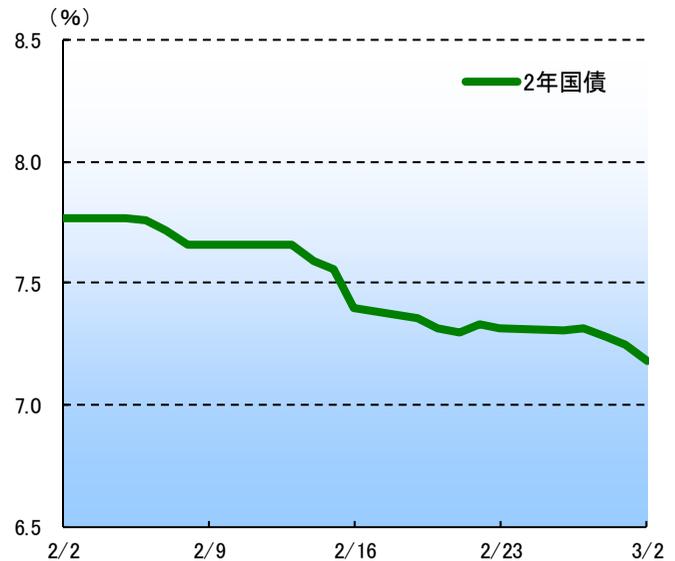
【ブラジル・レアル 為替推移】

(2018年2月2日～2018年3月2日)



【ブラジル 金利推移】

(2018年2月2日～2018年3月2日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

Daiwa Asset Management